

2014年12月19日

株式会社大広

総務局広報部

農林水産省「日本食・食文化の世界的普及プロジェクトのうち
日本食フェスティバル開催による理解促進（サンフランシスコ）」事業を受託

「Japan Food Fair in San Francisco」を開催

株式会社大広（社長：落合寛司）は、農林水産省が推進する「日本食・食文化の世界的普及プロジェクトのうち日本食フェスティバル開催による理解促進」のサンフランシスコ事業を受託しました。

日本食・食文化を幅広く発信し、日本製品の需要を高める取組の一環として、米国の政治・社会動向だけではなく、衣・食・住のトレンドセッターとして機能しているサンフランシスコで、日本食・食文化の魅力により多くの生活者に知っていただくことを目的とするイベント「Japan Food Fair in San Francisco」を、2015年1月11日（日）～1月13日（火）に開催いたします。

「Japan Food Fair in San Francisco」は、メイン会場である Three Embarcadero Center 1F のイベントスペースと、2つのレストラン会場（三楽、CHAYA）で行います。メイン会場では、**Bento Experience** と題し、小さな箱の中に日本食の魅力が凝縮された「お弁当」の試食・提供を行うほか、作るのも食べるのも楽しい「デコ弁」を体験できるワークショップを行います。レストラン会場（三楽、CHAYA）では、**Sake Experience** と題し、日本酒の無料試飲と、本イベントのために開発されたオリジナルのおつまみの提供を行い、日本酒とおつまみのマリアージュを体験していただきます。

また、同時期に開催される米国最大級の食品見本市「Winter Fancy Food Show 2015」ジャパンパビリオンでは、初めて日本の介護食品（スマイルケア食）が出品されることから、JETRO及び出展企業と連携し、日本食ならではの健康的な食材をアレンジした、子供からお年寄りまで安心して食べられる「ヘルシー弁当」をはじめ、枝豆や納豆をつかったおつまみなどのメニューを考案することで、日本産品の一層効果的なPRを行ってまいります。

本イベントでは、「お弁当」や「デコ弁」、「おつまみ」といった親しみやすいテーマで日本食・食文化を体験いただくことで、ひとりでも多くの方の日本食への興味を喚起し、生活の中に日本食を取り入れていただくきっかけとなるよう、展開してまいります。

◆「Japan Food Fair in San Francisco」概要

◇主催：農林水産省

◇企画・運営：株式会社大広

◇メニュー開発協力レストラン：Onigilly、三楽、ジャパカレー & Izakaya Roku、CHAYA、DELICA

◇協力：

日本貿易振興機構、株式会社天乃屋、井村屋株式会社、株式会社合食、株式会社かわかみ、カンロ株式会社、株式会社ギンビス、小林生麺株式会社、坂元醸造株式会社、スギモトアメリカ、大昇製菓株式会社、花の舞酒造株式会社、ヤマダイ食品株式会社

◇開催日程：2015年1月11日（日）－13日（火）

◇会場・開催時間：

<メイン会場：Three Embarcadero Center 1F> 3 Embarcadero Center San Francisco, CA 94111
11：00～14：00

<レストラン会場：三楽 Metreon 店> 135 4th Street, San Francisco, CA 94103
16：00～21：00

<レストラン会場：三楽 Sutter 店> 704 Sutter Street, San Francisco, CA 94109
16：00～22：00

<レストラン会場：CHAYA> 132 The Embarcadero San Francisco, CA 94105
16：00～23：00

<会場イメージ図>



<デコ弁ワークショップのお弁当イメージ>



●この件に関するお問合せは下記までお願いいたします。

株式会社大広 総務局広報部 長谷川

TEL：03-6364-8601

●「Japan Food Fair in San Francisco」に関するお問合せは下記までお願いいたします。

株式会社大広 第1ビジネスユニット 第1営業局 末永

TEL：03-6364-8260